

桜島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続＞

本日（26 日）、10 時 18 分に昭和火口で中規模な噴火が発生し、10 時 35 分に降灰予報を発表しました。この噴火により、桜島島内の鹿児島市有村町付近（昭和火口から南側約 3 km）で、最大約 1.5 cm の小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）を確認しました。

今のところ大規模な噴火が発生する兆候は認められませんが、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火¹⁾に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

平成 24 年 3 月 21 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）の切替を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙などの表面現象の状況（図 1）

本日（26 日）10 時 18 分に昭和火口で中規模な噴火が発生し、多量の噴煙が火口縁上 4,500 m まで上がり南に流れました。

・降灰の状況（図 2～4）

鹿児島地方气象台が本日実施した、現地調査および聞き取り調査の結果、鹿児島市の桜島島内から指宿市や南大隅町にかけて降灰が確認されました。また、鹿児島市有村町付近（昭和火口から南側約 3 km）では、最大約 1.5 cm の小さな噴石（火山れき）を確認しました。

鹿児島県によると、この噴火に伴う被害はありませんでした。

・地殻変動の状況（図 5）

有村観測坑道の水管傾斜計⁴⁾では、今回の噴火前に特段の変化は認められませんでした。伸縮計⁴⁾では、噴火前に伸びの変化が認められ、噴火後、急速に縮みました。

- 1) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または气象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。
- 2) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 4) 大隅河川国道事務所設置

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や气象台ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は气象台のほか、九州地方整備局大隅河川国道事務所、京都大学のデータを利用して作成しました。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』、『数値地図 25000（行政区界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



図 1 桜島 鹿児島地方気象台（鹿児島市東郡元町）から見た昭和火口の噴煙の状況
（26 日 10 時 24 分撮影）

多量の噴煙が火口縁上 4,500m まで上がり、南へ流れました。



図 2 桜島 島内の鹿児島市有村町付近（有村溶岩展望所、昭和火口から南側約 3 km）で確認した小さな噴石（火山れき）の状況

最大約 1.5cm の小さな噴石（火山れき）を確認しました。



図 3 桜島 小さな噴石（火山れき）が確認された範囲（赤点線の内側）
島内の鹿児島市有村町付近（昭如火口の南側約 3 km）で最大約 1.5cm の小さな噴石（火山れき）を確認しました。

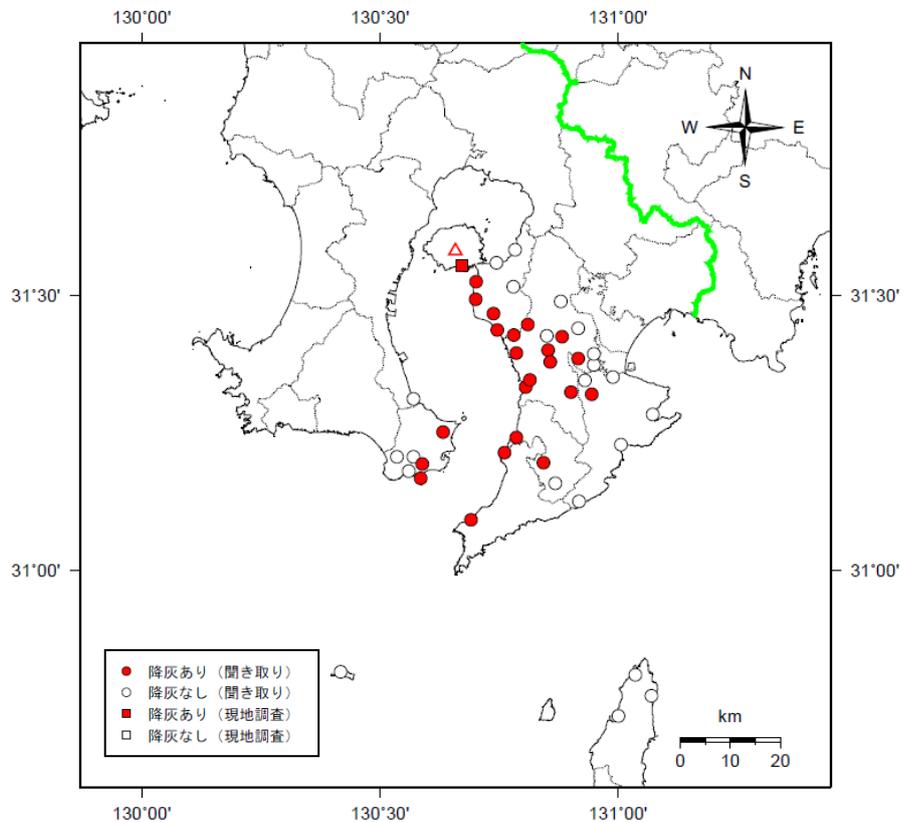


図 4 桜島 26 日 10 時 18 分に発生した噴火による降灰が確認された地点
鹿児島地方気象台が 26 日に実施した、現地調査および聞き取り調査の結果、鹿児島市の桜島島内から指宿市や南大隅町にかけて降灰が確認されました。

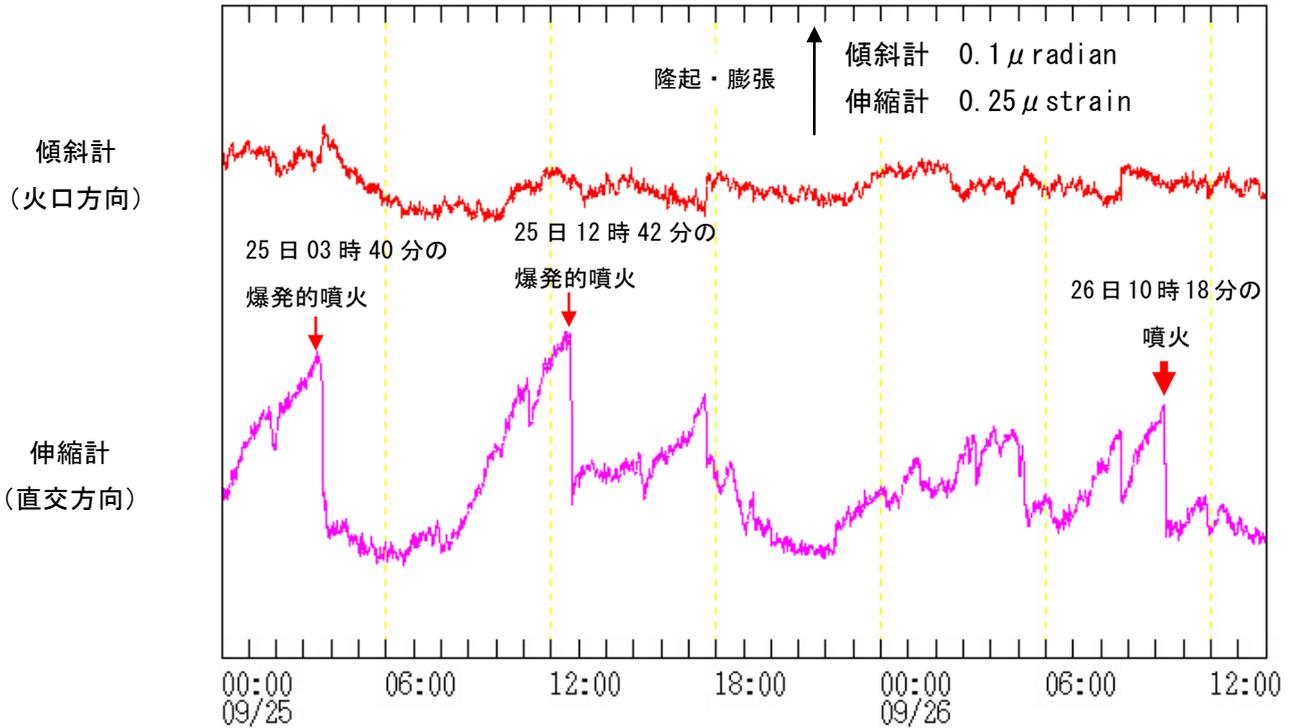


図5 桜島 地殻変動の状況 (2013年9月25日00時~26日14時)

有村観測坑道の水管傾斜計では、今回の噴火前に特段の変化は認められませんでした。伸縮計では、噴火前に伸びの変化が認められ、噴火後、急速に縮みました。

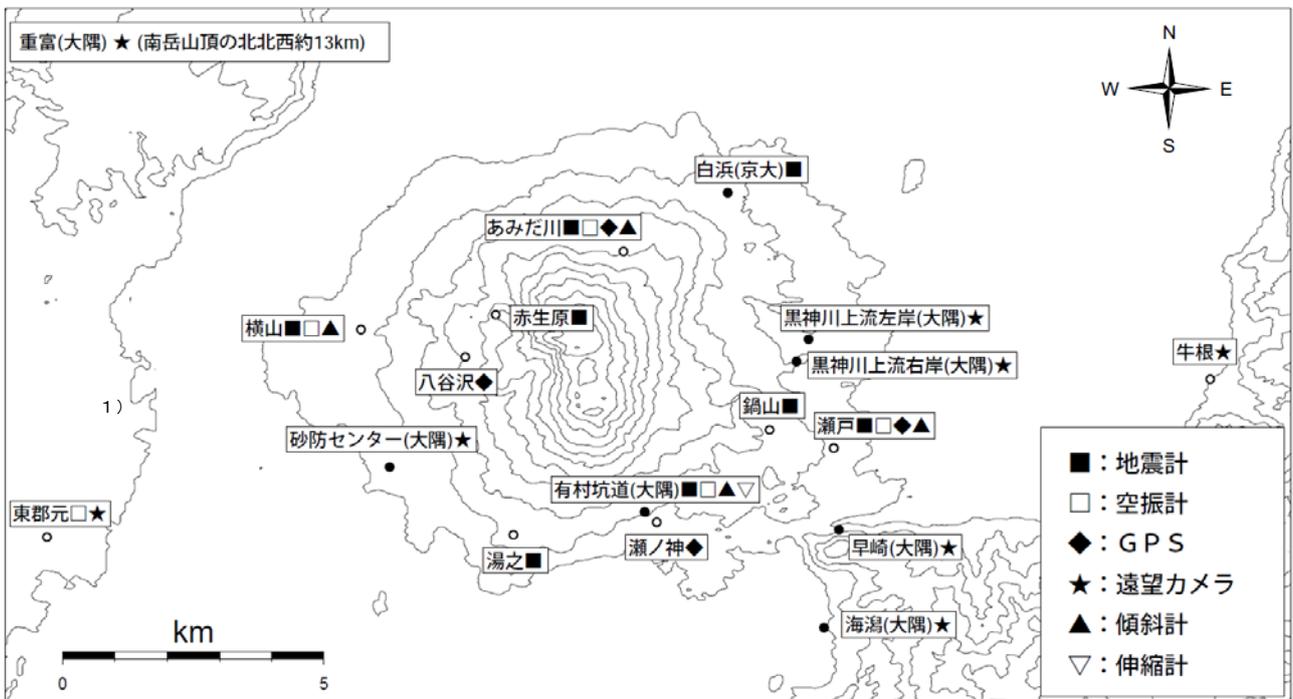


図6 桜島 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(大隅) : 大隅河川国道事務所設置、(京大) : 京都大学防災研究所設置